|  |
| --- |
| 1.申請者に関する事項 |
| 申請者 |
| 申請者（代表者氏名）　姓※ | 姓を日本語又は英語で入力してください　 |
| 　　　　　　　　　　名※ | 名を日本語又は英語で入力してください |
| 申請者（ふりがな）　　姓※ | 日本語名（姓）のふりがなを平仮名で入力してください |
| 名※ | 日本語名（名）のふりがなを平仮名で入力してください　 |
| 所属機関 |
| 所属機関※専攻まで記載 | この欄に入力された通り「所属機関長の承諾書」に印字されます。（「国立大学法人」等の記載が必要な場合は記入漏れのないように、お願いいたします） |
| 職名※ |  |
| 郵便番号※ | 例5508668　 |  |
| 住所※ |  |
| 電話番号※ | 例0665352117　 |  |
| FAX | 例0665352160　 |  |
| E-mail※ |  |
| 現在行っている主な研究分野　なるべく具体的に箇条書きで記入してください。 |
| 1※ |  |
| 2 |  |
| 3 |  |
| 4 |  |
| 学　歴新しい方から順に記載ください。（西暦）卒業修了年、学校名、学部学科名、大学院含む6件以上ある場合は備考欄に記載 |  | 卒業修了年 | 学歴 |
| 最終学歴※ |  |  |
| 学歴2 |  |  |
| 学歴3 |  |  |
| 学歴4 |  |  |
| 学歴5 |  |  |
| 備考 |
| 職　歴新しい方から順に記載ください。（西暦）6件以上ある場合は備考欄に記載 |  | 期間（着任年） | 期間（離任年） | 職 |
| 1※ |  |  |  |
| 2 |  |  |  |
| 3 |  |  |  |
| 4 |  |  |  |
| 5 |  |  |  |
| 備考 |
| 性別※ | ○男　　○女 |
| 生年月日※ | 19xx/mm/dd |  |
| 学位※ |  |
| 自宅 |
| 郵便番号※ | 例5508668 |  |
| 住所※ |  |
| 電話番号 | 例0665352117 |  |
| 携帯電話 | 例09065352117 |  |

|  |
| --- |
| 2.研究に関する事項 |
| 助成金を受けようとする研究の課題名　※ |  |
| 3.申請分野に関する事項 |
|  申請分野※ | ○　有機化学　　○　生化学　　どちらか必ず選択してください |
| 申請分野詳細※　以下の該当する分野にチェックを入れてください。 |
|  | 有機合成化学の基礎及び応用研究 |
|  | 高分子化学・超分子化学の基礎及び応用研究 |
|  | 有機機能材料化学の基礎及び応用研究 |
|  | 生体関連機能物質化学の基礎及び応用研究 |
|  | グリーンケミストリーに関する基礎及び応用研究 |
|  | 微生物学の基礎及び応用研究 |
|  | 酵素学の基礎及び応用研究 |
|  | 分子細胞生物学の基礎及び応用研究 |
|  | バイオテクノロジーに関する基礎及び応用研究 |
|  | その他　上記以外に関係が深い分野がある場合記入してください。 |
| 4.キーワード※　サンプルキーワードから選んでください。 該当がない場合は適切なキーワードを直接記入してください。 |
| 有機化学サンプルキーワード | 新合成手法、高選択的反応、不斉反応、環境調和型合成、精密重合、分子認識、ケミカルバイオロジー、プロセス化学、構造有機化学、計算化学、機能性材料、錯体、触媒、超分子ポリマー、金属有機構造体(MOF)、ナノ材料、ファインケミカルズ、生物活性物質、天然有機化合物、複合材料、分子デバイス、有機エレクトロニクス等 |
| 生化学サンプルキーワード | 遺伝子工学、代謝工学、生物生産、応用微生物学、発酵生産、生体触媒、酵素・タンパク質工学、糖鎖工学、抗原抗体、細胞工学、組織工学、ケミカルバイオロジー、食品科学、プレ・プロバイオティクス、生体関連物質、糖質、バイオマテリアル、バイオマス、バイオリファイナリー、バイオナノテクノロジー、バイオレメディエーション、生物資源、バイオエレクトロニクス、バイオセンサー、植物生化学、生体高分子、合成生物学等 |
| キーワード1※ |  |
| キーワード2 |  |
| キーワード3 |  |
| キーワード4 |  |
| キーワード5 |  |
| 5.研究の目的※　300文字以内 |
| 6.研究の具体的内容、意義※　A4用紙2枚以内で項目別に簡潔に要約してPDFファイル（5MB以内、左右余白各2cm以上）をアップロードしてください。5MBを超える場合、送信用PDF　を一旦アップロードし、実際のファイルはメールにてご送信ください。 |
| 7.産業界への波及効果、研究成果が、具体的に産業界に役立つ内容や方向性を記入してください。※300文字以内 |
| 8.共同研究者がある場合はその氏名・所属・職名　一人毎に改行してください。 |
| 9.助成金の主な使途※　　項目別にラウンド数字で結構です。注1）この助成金は、研究の推進に真に必要なものであれば、どのような項目に使用されても結構です。実際に使用したい項目、予定金額を記入してください。注2）本年度の助成金について記入してください。 |
| 　材料費 |  | 万円 |
| 　器具費3つまでの主な物の内容とおおよその金額を列記してください | 器具名1 |  |  | 万円  |
| 器具名2 |  |  | 万円 |
| 器具名3 |  |  | 万円 |
| アルバイト謝金 |  | 万円  |
| コンピュータ等使用料 |  | 万円 |
| 　その他3つまでの主な物の内容とおおよその金額を列記してください | その他名目1 |  |  | 万円  |
| その他名目2 |  |  | 万円 |
| その他名目3 |  |  | 万円 |
| 10.研究実施期間※　始期及び終期を記入してください　西暦 |  | 年 |  | 月から |  | 年　 |  | 月まで |
| 11.過去の代表的論文（10報まで）※著者は原則として全員記載し、責任著者に＊をつけてください。論文題名目は必ず記載してください。一報ごとに改行してください。　 |
| 12.本研究の内容と関連ある所属学会※該当なければ「なし」と記載 |
| 13.他に公的機関から資金援助を受けておられましたら全て記入してください（過去5年間）※　該当なければ「なし」と記載し、金額欄は「0」と記入してください |
|  | 助成種目（代表／分担） | 助成課題名 | 助成期間開始年度（西暦） | 助成期間終了年度（西暦） | 金額(万円)本人分配額（来年度分） | 金額(万円)本人分配額（全期間分） |
| 1 | ※ |  |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |  |  |
| 5 |  |  |  |  |  |  |
| 備考　注1）申請内容に関わらず記載ください。注2）6件以上ある場合は備考欄に記載ください。 |
| 14.他に財団等から資金援助を受けておられましたら全て記入してください（過去5年間）※　該当なければ「なし」と記載し金額欄は「0」と記入してください |
|  | 助成機関名 | 助成課題名 | 助成期間開始年度（西暦） | 助成期間終了年度（西暦） | 金額(万円)本人分配額（来年度分） | 金額(万円)本人分配額（全期間分） |
| 1 | ※ |  |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |  |  |
| 5 |  |  |  |  |  |  |
| 備考注1）申請内容に関わらず記載ください。注2）他財団への申請との相違点、また6件以上ある場合は備考欄に記載ください。 |
| 15.本研究と同様のテーマで他財団へ助成金申請中のものがありましたら全て記入してください※　　該当なければ「なし」と記載し金額欄は「0」と記入してください |
|  | 助成機関名 | 申請課題名 | 助成期間開始年度（西暦） | 助成期間終了年度（西暦） | 金額(万円)本人分配額（来年度分） | 金額(万円)本人分配額（全期間分） |
| 1 | ※ |  |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |  |  |
| 5 |  |  |  |  |  |  |
| 備考注1）申請内容に関わらず記載ください。注2）他財団への申請との相違点、また6件以上ある場合は備考欄に記載ください。注3）金額は見込みで結構です。 |
| 16.当財団への過去の応募状況をわかる範囲で記入してください初めての方は０と記載 | 　　　　 　 | 回 |
| 17.その他参考となる事項、希望事項、研究環境（新たな研究室の立ち上げ等）等、追加附記事項等がありましたら記入してください。　300文字以内 |